

西成区長タウンミーティング議事要旨 (天下茶屋中学校)

【日時】

平成 25 年 2 月 5 日 (火) 午後 7 時～午後 9 時

【場所】

天下茶屋中学校 多目的室

【臣永区長あいさつ】

去年の 8 月に西成区長として着任させていただきましてから半年になり、この間、夏祭りやいろんな行事で各地区にお邪魔している。今日は、一方的な行政からの説明ではなく、ぜひ皆さん方の忌憚のないご意見をお伺いしたい。区役所からのご説明は概要、最小限にとどめ、皆様方のご意見、ご感想、ご指摘などをできるだけお伺いしていきたいと思っている。

【区役所からの今後の区政方針について説明】

- ・ 西成区の現状を統計数字で説明。
- ・ 平成 25 年度予算要求
- ・ 平成 25 年度西成区運営方針 (素案)
- ・ 西成区将来ビジョン (素案)
- ・ 西成特区構想
- ・ 行政区のブロックの区割り試案

【参加された皆さまからの主なご意見】

- ・ 地域活動協議会の運営費を減らさないで欲しい。長年ボランティアで地域活動をやっている。若い人は仕事が忙しく、高齢者が担っている。26 年度から補助金が 2 分の 1 になり、後は活動費を稼げといわれているが無理である。
- ・ タウンミーティングの開催を知らない人がたくさんおられるので周知方法を考えて欲しい。
- ・ 今宮小中一貫校の通学路が長く小さい子には過酷ではないか。
- ・ 西成区の町は汚いというイメージが流されているので、西成区という名前をなくして欲しい。
- ・ バウチャーの対象について、大阪市立の学校だけが対象であって、国立の特別支援学校は対象外だが、今後継続されるときも対象外にされるのかどうか教えて欲しい。
- ・ バウチャーの中身として e ラーニングは対象外にしているが、e ラーニングで障害児

教育のプログラムも研究されており、その利用を推進している自治体もある。情報不足の大阪市の判断は許し難い。

- ・ 西成特区構想や大阪都構想は、その元になっているのは東京特区の制度で、これは戦争中に中央集権的につくった制度です。何でそんな古いモデルに私たちの未来の生活スタイルを託さないといけないのか分からない。
- ・ 西成特区について、焦らず、根本から、みんなで西成区全体をどうしていくんだということをぜひ検討していただきたい。
- ・ 区長のレポートにあった「任期の間に生活保護者を西成区から半分にする」という秘策を区長から聞いてみたい。
- ・ 他府県から来た、民生委員としても見たことのない人が生活保護を受けたいとやってくる。
- ・ 生活保護の不正受給が目には余る。徹底的な適正実施を。
- ・ タダでもらった薬を売っている人もいる。
- ・ 若い人が、仕事がないと保護を受けている。自立支援にもっと力を入れるべきだ。
- ・ 登校時に地域で「おはよう会」運動をすすめている。社会貢献する人の掘り起こしをしている。
- ・ 住吉市民病院を現地で建てかえて欲しいと、ぜひ市長にも伝えていただきたいし、説明会を西成でも何としても開いていただきたい。
- ・ 災害時用放送の試験運転が聞こえなかった。区内の地域ごとに防災対策を考えて欲しい。
- ・ 赤バスを廃止しても、区の東と西を結ぶものとして、高齢者の人、障がい者を対象にした無料のバスだけでなく、一般の人でも乗れるバスを走らせて欲しい。
- ・ 地域活動協議会について、全くのボランティアとしてやっているのに、NPO法人や商店街と一緒に立ち上げさせられ、ましてや予算まで削られるのは間違っている。

【区役所からの発言】

- ・ 地域活動協議会について、今後も地域を回らせていただき、一緒になって進めさせていきたいと思っている。
- ・ 今回のタウンミーティングについては、連長会でのお知らせとともに、2月1日発行の「にしなり我が町」でもご案内させていただいた。今後とも、様々な媒体を使って周知に努めたい。
- ・ 今宮小中一貫校の通学路については、教育委員会が、南海電車の1駅分の通学定期を1年生から6年生までの児童と、1年生から3年生までの保護者のうち希望される方に支給することを検討している。通学路については、皆様方と一緒に町歩きをしたりしながら、今後2年間で安心して通学していただけるように、環境整備に努めてまいります。
- ・ 医療扶助費については、西成区では昨年8月から、通院医療機関等確認制度を開始し、

重複受診や重複服薬の防止を進めている。

- ・ 防災対策については、避難路や対象者など、きめ細かに、地域ごとに様々な事項を決めていかなければならないと考えている。住民の皆様と一緒に頑張って勉強会のようなこともしながら進めてまいりたい。
- ・ 西成区においては、北西部方面地域の東西の移動手段に不便な状況があるということで、その部分を補うような形で、福祉の予算を活用させていただきながら、移動の支援のための施策を考えている。
- ・ 地域の皆様が、今までボランティアとして様々な取組みを行っていただいているお気持ちはよくわかる。現在、大阪市では、地域活動協議会を作り、また新たな形で地域活動を進めていこうとしている。今後、また各地域を回らせていただく中で、色々なお知恵もいただきながら進めていきたいと考えている

【区長からの発言】

- ・ 現在、大阪をどんなふうに変えていこうかということで、市役所で話をしているところで、まだまだ形になっていない。しかし、自分たちで決めていく、その第一歩が始まったと思って欲しい。先ほど、西成区の名前など失くした方がよいというご意見をいただいたが、西成区は大阪の中でも一番歴史のある名前なので残すべきだというお声も聞く。今日、お伺いして、関係局と協議をしてお答えしなければ、まだ私たち西成区だけでは決められないところもある。そういうところはまた機会を作りたい。また、ご指摘いただいたように、今度は様々な形で、ホームページや配り物などで、ご紹介させていただきたい。
- ・ 西成特区構想について、根本的な問題から、なおかつ全体的な視野から取組んでいって欲しいということは、全くそのとおり。そういう視点を十分に入れながら、具体的なことについて一つ一つ取組んでまいりたい。
- ・ 生活保護については、西成区は、少しではあるが減っている状態。これは全国的にもまれのようなものである。本当に必要な人は受け付けるけれども、そうでない人は厳しくチェックをするということで、2年で、新規受給者は半分ぐらいに減らしていきたいというのは、目標として持ちたい。

雇用は増やしていかなければならないが、一昔前のように、役所がどんどん仕事を発注していけるような状態ではないし、区役所で独自の予算を組めるような段階にはまだなっていない。そこで、地域のNPOとか団体を通して、25年度から新しい仕事づくりを考えている。例えば、特掃という清掃作業もその一例である。生活保護受給者の方に町をきれいにしていただき、そこで稼いでもらって何とか生活保護から脱却をしてもらおうといったことを考えている。劇的な変化というのはなかなか難しいが、色々な面からやっていきたいというのが、今、私が考えているところである。

- ・ 住吉市民病院については、住之江区の高橋区長ともよく話をしている。住民の皆様の不安を解消していけるような環境づくりをしていきたいと考えているが、病院の機能

を充実させるために府立病院と統合していくということであればいいのではないかと
いうのが、今の大阪市の方針である。住之江区長とは、アクセスの改善等を提示しな
ければ、なかなかご理解していただきにくいだろうと話をしている。ただ、この件に
ついては、市長からは、これは区長の権限の及ぶものではないということを言明され
ている。しかし、区長権限ではないとしても、みんなと一緒にいろいろな議論を
してそれを上げていけば、いかに地域の声が強いかということも市長に伝えること
はできるのではないかと考えている。この件について個別に話をされるのであれば、担
当者を一緒に同席して、話を聞かせていただくことになると思う。